

# いのちまもる

## キャラバン行動ニュース

第 10 号

2013 年 10 月 22 日

日本医労連

TEL : 03-3875-5871

FAX : 03-3875-6270

# 日本看護協会と懇談



10月21日、日本医労連は看護協会を訪問し、坂本すが会長をはじめ8人の皆さんと懇談しました。

日本医労連側からは、山田中央執行委員長と木口副委員長、中野書記長、三浦書記次長と煙崎中執が参加しました。最初に山田委員長から懇談へのお礼と、役員体制の変更や夜勤規制に向けた運動の方向について説明がされ、その後中野書記長から、公益財団法人日本医療総合研究所・看護問題プロジェクトチームが取り組んだ「急性期一般病院における看護職員の腰痛・頸椎腕痛の実態調査結果」を、つづいて三浦書記次長が日本医労連看護プロジェクトの取り組んだ在宅・訪問看護実態調査結果から出した「私たちのめざす訪問看護の体制の中間報告」について報告しました。

看護協会側からは、「病院勤務の看護職の賃金に関する調査」について、「離職意向の理由に賃金に対する不満がある場合、次際に看護職で求職（転職）している場合は65.0%」「支給される時間外に納得していない看護職の58.5%に離職意向がある」などが報告されました。

懇談の中で、8割を超す看護師が腰痛を持っている問題について、看護協会も把握していること、また訪問看護ステーションの月10回を超える待機の問題、看護師の低すぎる賃金について、有料職業紹介所の問題について話がすすみ、多くの問題で共通認識を持ち、各々の立場で改善に向けての取り組みをすることが確認されました。

最後に、今後日本医労連が予定しているILOやヨーロッパ、オーストラリアへの海外視察についてふれ、看護師の夜勤問題や配置人数など、国際的にみても異常な日本の状況を改善するためお互いに取り組むことが確認されました。

# 10・24集会の成功を！

白衣とエプロンをもって、日比谷野外音楽堂に集まろう！

医療・介護の改悪いつ止める！ 「今でしょ！」

